

FOR IMMEDIATE RELEASE



<プレス・リリース>

配信日：2021年11月10日

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

Sylvia Savadjian (sylvia.savadjian@gmail.com)

ACA Cinema Project

「フラッシュ・フォワード~デビュー作の風景~」

FLASH FORWARD: DEBUT WORKS AND RECENT FILMS BY NOTABLE JAPANESE DIRECTORS

2021年12月3日（金）～23日（木）

20作品をジャパン・ソサエティー（JS）と文化庁（ACA）共催により上映

協力：映像産業振興機構（VIPO）

日本を代表する沖田修一、河瀬直美、阪本順治、塩田明彦、周防正行、西川美和監督6人それぞれのデビュー作と最新作、注目の新人監督6名の作品をオンライン上映。そして、山中貞雄監督の『丹下左膳餘話 百萬両の壺』（北米初上映）、『河内山宗俊』（海外初上映）4K修復版を国立映画アーカイブ（日本）協力の元、劇場上映。



Moonlight Whispers © 1999 Nikkatsu

ジャパン・ソサエティー（JS）と文化庁（Agency for Cultural Affairs, Government of Japan）

は、映像産業振興機構（VIPO）の協力のもと、12月3日(金)から12月23日(木)にわたり、ACA Cinema Project シリーズ第2弾 [「フラッシュ・フォワード ～デビュー作の風景～」](#) をオンラインとJS劇場内上映のハイブリッド形式でお届けします。そのうち18本は米国内でアクセス可能なオンライン上で配信され、2本はJS劇場内の大スクリーンで12月11日(土)と17日(金)に上映されます。

現在活躍中の映画監督の初期作品に注目する本シリーズでは、日本を代表する6名の監督、沖田修一、河瀬直美、阪本順治、塩田明彦、周防正行、西川美和のデビュー作と最新作を紹介します。監督それぞれのスタート地点と現在を切り取って見ることで、それぞれがどのように特徴的な手法を創りあげてきたかを考察します。過去と現在の類似点と対照点に着目し、各監督の転換点となった初期の作品の重要性に光を当てます。

世界三大映画祭の一つであるカンヌ国際映画祭で、カメラドール（新人監督賞）を最年少で受賞した河瀬直美監督のデビュー作『萌の朱雀』（1997）、プロボクサーの自伝小説を本人主演で描いた80年代インディーズ映画の名作・阪本順治監督『どついたるねん』（1989）、同じく80年代後半に仏教の世界を楽しく多彩な視点で描いた周防正行監督の『ファンシイダンス』（1989）、少年時代の思春期と無条件の愛を歪んだ形で描いた塩田明彦監督の『月光の囁き』（1999）、孤独というテーマをシュールにユーモアたっぷりに描いた沖田修一監督『おらおらでひとりいぐも』（2020）、機能不全の人物を巧みに描いた西川美和監督『蛇イチゴ』（2003）など、話題の作品を視聴できる貴重な機会となっています。

また、国立映画アーカイブ（日本）協力の元、山中貞雄監督の『丹下左膳餘話 百萬両の壺（たんげさぜんよわ ひゃくまんりょうのつぼ）』（北米初上映）、『河内山宗俊（こうちやまそうしゅん）』（海外初上映）の2作品を4K復元版でJS劇場にて上映いたします。小津安二郎や成瀬巳喜男と同時代に活躍した山中は、28歳の若さでこの世を去りましたが、生涯の作品数は少ないながらも名高い作品を残しました。情熱的なヒューマニズムを持つ山中は、喜劇、ドラマ、悲劇の間を自在に行き来するその天性のストーリーテリング能力で時代劇の近代化に貢献し、黒澤明、鈴木清順、黒木和雄など多くの映画人に影響を与えました。

【チケット・インフォメーション】

開催期間：2021年12月3日（金）～23日（木）

＊ジャパン・ソサエティー劇場内での上映

チケット販売開始：一般 2021 年 11 月 15 日（月）。JS 会員は 11 月 11 日（水）より購入可能。チケット価格：一般\$15/JS 会員 10 ドル。複数購入割引あり。

＊オンラインでの上映：

本シリーズで紹介する全ての作品を視聴できるオールアクセス・パス（55 ドルで 21 日間のレンタル付）を 2021 年 11 月 15 日（月）から 12 月 2 日（木）まで販売。作品ごとのチケット（10 ドル・3 日間のレンタル付）と、複数作品が組み合わされたお得なセット（3 日間のレンタル付）は 12 月 3 日（金）より販売。JS 会員は、クーポンコードのご使用で、すべてのチケットが 20%割引となります。

チケットは film.japansociety.org にてご購入いただけます。ご購入の映画は特別な但し書きがない限りは、本上映会開催中（2021 年 12 月 3 日（金）～23 日（木））、米国内から配信プラットフォーム上のサイトにて日本語音声・英語字幕で作品をご視聴いただけます。米国外からもご視聴いただける映画については下記に明記してございます。本上映会の出品作品、詳細はやむをえず変更される場合がございます。さらに詳しい情報につきましては japansociety.org をご覧ください。

ほぼ全ての作品のスクリーナーを用意してございます。プレス関係のお問い合わせは、以下担当者まで E メールでお寄せください。

日本語担当：マリカ 絵美 (EMarica@japansociety.org)

英語プレス担当：Sylvia Savadjian (sylvia.savadjian@gmail.com)

ジャパン・ソサエティーとオンライン上映に関する英語でのお問い合わせは、Allison Rodman (arodman@japansociety.org) までお願いします。

デビュー作と近作

監督名 50 音順に作品を掲載しています。オンラインでの上映のみとなります。

沖田修一監督作品

『南極料理人』 The Chef of South Polar

情熱的な料理人・西村淳（堺雅人）は家族を日本に残し、ドームふじ基地の 8 人の南極観測隊に 1 年半参加する。隊員たちの料理を担当することになった西村は、愛情を込めて手のかかる、心のこもった食事を作り、極寒の南極での生活に温もりを与える。次の日に何が起こるかわからない環境の中、隊員たちはラーメン不足、人間関係、孤独、そしてホームシックなど、大小さまざまな危機に陥るのだった。沖田監督の独特のユーモアと軽快な語り口が、人間を寄せ付けない極寒の土地で自分たちの居場所を作ろうとする仲間たちの真実の物語に命を吹き込む。

2009 年／125 分／監督: 沖田修一 出演：堺雅人 生瀬勝久 高良健吾

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『おらおらでひとりいぐも』 Ora, Ora Be Goin' Alone

75 歳の桃子（田中裕子）は、夫の死後、大きな空き家で孤独に暮らしているが、一日の終わりが次の日のはじまりに変わると、桃子の孤独感は奇妙な形で現れるようになる。オラ（東北弁で『私』の意）という 3 人の架空の男が突然現れ、過去の幻影を見るようになったのだ。桃子が若き日の思い出に慰めを求めるにつれて、沖田監督のオフビートなシュールリアリズムが、過去と現在の間を遊び心たっぷりに行き来する。桃子は、自分が家出して上京してきたことから恋に落ちたことまでを思い出しながら（蒼井優出演）、満たされなかった夢や後悔、疑問がよみがえってくるのだった。長い人生についての思索であり気まぐれな瞑想である『おらおらでひとりいぐも』は、哀愁を帯びたテーマにコメディとユーモアを巧みに取り入れて、穏やかで成熟した孤独を探求する。

2020 年／137 分／監督: 沖田修一 出演：田中裕子 蒼井優 東出昌大

オンライン上映のみ。北米で視聴可

河瀬直美監督作品

『萌の朱雀』 Suzaku

伸びやかな木々と、黄金色に輝く雑木林の穏やかなざわめきにかこまれ、朱雀は、奈良県の山

深くに忘れ去られたかのように生きている - 近代化の波に触れていない自然の楽園、自立したひとつの世界。舗装されていない土や砂利の曲がりくねった道に沿って、絶え間ない住民の流出、廃墟と化した鉄道計画が鬱屈した西吉野村に影を差している。林業で成り立つその村では10代のみちる（尾野真千子）とその家族が住んでいる。惨劇に見舞われた家族は、平凡な日常を乗り越えていかなければならない。古代中国の南方の守護神である朱雀に由来する題名を持つ本作品は、河瀬監督が8mmフィルムで始めたドキュメンタリーの延長線上にある作品だ。

1997年／95分／監督: 河瀬直美 出演: 國村隼 尾野真千子 柴田浩太郎

オンライン上映のみ。カナダでも視聴可

『Vision』 Vision

人の心のあらゆる苦しみを癒すことができるという伝説の薬草を求めて、フランス人エッセイストのジャンヌ（ジュリエット・ビノシュ）が奈良の霧に包まれた森にやってきた。豊かな自然の中を探すうち、彼女は森の番人たちと出会う。智と年長で盲目のアキは何か尋常でない環境の変化を感じ始めていた。千年に一度という薬草の復活時期が近づいた頃、アキは突然姿を消し、ジャンヌと智は加速する環境の変化に対応していくことになる。『Vision』は、そのタイトル通り、河瀬監督の力強く触覚的な視覚表現が冴える作品であり、寡黙な登場人物たちを通して、言語を超えたコミュニケーションで人間存在に対する心に迫る思索を可能にしている。

2018年／110分／監督: 河瀬直美 出演: ジュリエット・ビノシュ 永瀬正敏 岩田剛典

オンライン上映のみ

阪本順治監督作品

『どついたるねん』 Knockout

脳挫傷から生還したマッチョなプロボクサー・安達英志（赤井英和）は、命の危険も顧みず、ボクシングの栄光を再び手に入れようと再起を目指す。男勝りでなりふり構わず、気性の荒い安達は、リング復帰を目指して大阪にトレーニングジムを立ち上げ、一から再出発をする。時には笑いを誘いながら、ボクサーの自滅的な性格を風刺的に、そして陰鬱に表現した坂本監督の作品。主演の赤井の人生と経歴に基づいているこのほろ苦い抵抗と困難の物語は、口コミで

話題となり公開と同時に広く人気を集め、80年代を代表する映画となった。

1989年／110分／監督: 阪本順治 出演: 赤井英和 相楽晴子 磨 赤児 原田芳雄

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『団地』 The Projects

燃やせるゴミとリサイクルゴミの混同や、隣人の家庭内のいざこざによる騒音だったり、大阪郊外の団地住人たちは、いつも何かに悩まされている。しかし、ヒナ子（藤山直美）と清治（岸部一徳）はそんなことは気にしない。漢方薬局の廃業に伴い、半年前にこの団地に引っ越してきた老夫婦は、不本意ながらも生活を再スタートさせていた。しかし、清治が失踪したことで、団地住民の間で離婚か、殺人、それともバラバラ殺人かとあらぬ噂が広まる。

日傘をさした謎の男が自然療法の高額注文をしたことからあらわになった真相は噂を超える幻想的なものだった。本作は、コメディから冒険、そして感動的な晩年のロマンスまで様々なジャンルが融合する。

2016年／103分／監督: 阪本順治 出演: 藤山直美、岸部一徳

オンライン上映のみ。カナダでも視聴可

塩田明彦監督作品

『月光の囁き』 Moonlight Whispers

塩田明彦が1999年に監督した2本の映画のうちの1本（もう1本は同様に衝撃的な『どこまでもいこう』である）。『月光の囁き』は、タブー破りの驚くべき無条件の愛を描いた、痛烈な青春映画への批判。朝早くから剣道の稽古に励む17歳の拓也と紗月がお互いに抱いていた感情は、おとなしい友情から無邪気な恋心へと発展していく。しかし次第に、拓也の中にある変態的な嗜好が明るみになり、二人の関係は未知の領域へと突入していく。歪んだ初恋のビジョン、覚醒した欲望、思考、感情に揺さぶりをかける塩田監督の衝撃的なデビュー作は、レスリー・キャロンや小説家の綿矢りさ（『勝手に震えてろ』）など、幅広い層から高い評価を得ている。

1999年／97分／監督: 塩田明彦 出演: 水橋研二 つぐみ 草野康太

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『さよならくちびる』 Farewell Song

ハル（門脇麦、『あのこは貴族』）とレオ（小松菜奈）による人気インディー・フォーク・デュオ『ハルレオ』が、解散前の最後の活動として、7 日間のツアーを行うことになった。ほとんど会話がないうちの二人の間の緊張感を和らげるために、シマ（成田凌）がローディーとして雇われる。かつては親友で仲良しコンビだった 2 人の関係と歴史が、どこまでも続く高速道路、ガソリンスタンド、食堂、休憩所などツアーの旅路に過去の出来事を織り交ぜながら、ゆっくりと明かされていく。最終の目的地に近づくにつれ、3 人は解散と最後の別れを受け入れることになる。

2019 年／116 分／監督: 塩田明彦 出演: 小松菜奈 門脇麦 成田凌

オンライン上映のみ。北米で視聴可

周防正行監督作品

『ファンシイダンス』 Fancy Dance

由緒ある僧侶の家系に生まれたパンクロッカーの陽平（本木雅弘）は、伝統を守る責任感から、頭を丸め（すでに半分剃りあがってはいたのだが）恋人の真朱に別れを告げ、モッズスーツを僧衣に変えて、家名を継ぐためしぶしぶ禅寺で 1 年間の修行をすることになる。人里離れた山にある禅寺では様々な修行や儀式が日々行われているが、陽平はあからさまに権威を否定したり、おどけたりして、身分の高い僧侶に目をつけられてしまう。次第に仏教の生き方に魅了されていく陽平だが、僧侶になるか、元のアナーキーな生活に戻るかの決断を迫られる。厳格なライフスタイルをユーモラスかつコミカルに描いたエンターテインメント作品。『ファンシイダンス』は、周防が小津安二郎風のカメラワークを駆使した成人映画『変態家族 兄貴の嫁さん』（1984 年）を発表した後の、メインストリームデビュー作となった。

1989 年／101 分／監督: 周防正行 出演: 本木雅弘 鈴木保奈美 田口浩正 竹中直人

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『カツベン！』 Talking the Pictures

『Shall we ダンス？』の周防正行監督の最新作である本作、日本の無声映画時代の末期が舞台。無声映画時代、真のスターはスクリーン上の俳優ではなく、活動弁士と呼ばれる生身の語り手。アクションやキャラクターの声を担当し、観客を動画の世界へと誘う。映画好きの俊太

郎（成田凌）は、幼い頃からスター弁士になるのが夢だったが偽弁士となって悪事の片棒を担いでいたが、一味から逃げ出し小さな町の映画館に身を隠す。人生を変えようとする中、生意気なライバル俳優、泥棒一味、そして執拗な刑事が立ちはだかる。魅力的な時代背景やギャグが盛り込まれた本作は、日本の無声映画の黄金時代への真のラブレターであり、映画鑑賞の魔法への賛辞でもある。

2019 年／126 分／監督: 周防正行 出演：成田凌 黒島結菜 永瀬正敏 高良健吾

オンライン上映のみ。北米で視聴可

西川美和監督作品

『蛇イチゴ』 Wild Berries

是枝裕和監督『ワンダフルライフ』『DISTANCE』などの制作に参加した西川美和が、是枝裕和のプロデュースのもとで監督した初長編作品。普通の伝統的価値観という薄いベールに覆われた機能不全の明智家をシニカルなタッチで描く。コミカルでグロテスクでダークな西川監督のデビュー作は、忌憚なく崩壊寸前の家族の姿を浮き彫りにしている。家族に失業を隠す父親、老いた義父の世話をしなければならない従順な母親、結婚を控えた理想的な学校教師の娘、そして詐欺師としての才能を発揮しているごくつぶしの息子。そんな中、父の芳郎の借金が明るみに出て、近所や親戚に騒動を巻き起こす。危機的状況に陥った一家は、さらなる不幸を避けようと必死になるのだった。

2003 年／108 分／監督: 西川美和 出演：宮迫博之 つみきみほ 平泉成

オンライン上映のみ

『永い言い訳』 The Long Excuse

人気小説家の幸夫（本木雅弘、『ファンシイダンス』）は、何年もの立て続けの成功にも関わらず、不満と倦怠感に苛まれていた。20 年来の結婚生活には活気も愛も感じられず、軽率にも不倫をしてしまった。そんな中、妻の夏子とその親友ゆきが不慮の事故で亡くなってしまう。無気力ながらも残された遺族としての役割を果たさなければならない中、偶然にも、ゆきに先立たれ憔悴しきった夫の陽一とその 2 人の子供たちと出会うことになり、彼ら家族の誠実さ、率直さに心を打たれる。ふとしたきっかけで、陽一が仕事に行っている間、子供たちの世話をす

ることした幸夫だが、子供たちへの愛情が深まるにつれ、失くしたと思っていた感情が蘇ってくるのだった。西川氏の同名小説を映画化した『永い言い訳』は、喪失の悲しみの感情の揺れに絶え間なく立ち向かう、心ゆさぶる人物像を描き出している。

2016 年／124 分／監督: 西川美和 出演：本木雅弘 竹原ピストル 深津絵里

オンライン上映のみ

フォーカス：山中貞雄監督

協力：国立映画アーカイブ（日本）

上映作品はタイトルの 50 音順に並んでいます。劇場上映のみとなります。

『河内山宗俊』 **Priest of Darkness** (4K 修復版)、海外初公開

歌舞伎の名作『天衣紛上野初花：河内山と直侍』をベースにした山中監督の『河内山宗俊』は東京の貧民街を舞台にした緻密な時代劇である。ギャンブル好きのトラブルメーカー広太郎は、ある日、侍の小刀を盗んだことがきっかけで、ドミノ倒しのように一連の厄介な出来事に巻き込まれてしまう。頭の回転が速い広太郎は、直次郎という名で、僧侶の格好をして賭博場を営んでいる『坊主』と呼ばれる河内山宗俊の営む居酒屋に身を隠している。そのうちに、必死になってヒロを探すヒロの美しい姉、お浪（原節子の初々しい演技）が現れ、河内山に弟を探してくれるように頼み、彼女を気に掛ける河内山もそれを請け負うのだった。

1936 年／82 分／監督：山中貞雄 主演：河原崎長十郎、中村 翫右衛門、原節子

劇場での上映のみ

12 月 17 日（金）午後 7 時

『丹下左膳餘話 百萬両の壺』 **Tange Sazen and the Pot Worth a Million Ryo**

(4K 修復・最長版)、北米初公開

名門柳生家が隠した百万両の財宝にまつわる秘密の地図が入った醜い壺が、誤って人の手に渡ってしまい、知らず知らずのうちに持ち主を転々とし、領主は取り返しに奔走する。その話が世間に広まったところ、問題の壺は幼い子供の安吉が金魚を飼うために使っていた。安吉の父親

が亡くなると、安吉は片腕片目の荒くれ者の丹下左膳が守る酒場に預けられる。運良くも、領主の弟である源三郎がその居酒屋に出入りするようになり...

1935 年／94 分／監督：山中貞雄 主演：大河内傳次郎、喜代三、沢村国太郎

劇場での上映のみ

12 月 11 日（金）午後 7 時

注目の新人監督たち

上映作品はタイトルの 50 音順に並んでいます。すべての作品が無料で視聴できます。

オンライン上映のみ

『アルビノの木』 The Albino's Trees

緑豊かな山の風景の中で繰り広げられる痛切なモラルのジレンマを描いた作品。動物管理局のハンターであるユク（松岡 龍平）が報酬を目当てに、近隣の村では森の神とされている希少な白鹿の捕獲を請け負う。当初は母親の治療費を捻出するために引き受けたものの、村人たちとの交流が深まり、彼らが疎外された生活を選ばざるを得ない事情を理解するようになるにつれ、その意志は弱まっていく。金子雅和監督は、この微妙な人間関係を、テンポよく、繊細なタッチで描いている。また、映画の見せるパノラマの風景と自然の中に優しくクローズアップされる人々は、個人的な義務や現代社会への適応といった枠組みや、その人間の営みを静かに見守る自然の息遣いと共に行動し生きるとはどういうことなのか、という大きな疑問を投げかける。

2016 年／86 分／監督：金子雅和 出演：松岡 龍平、東 加奈子、福地 祐介

オンラインのみ。北米で視聴可

『サトウくん』 A Boy Sato

山間部の温泉町の駅の前で土方くんに声をかけたのは、引越したはずの奇妙な訪問者、サトウくんだった。かつての溜まり場や地元の名所を訪ねながら、サトウくんは町の何かがおかしいと感じ始める。

2017 年／15 分／監督：佐々木想 主演：市岡和真、土方雄也、西野亮廣

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『波の向こう』 My Atomic Aunt

10年間の海外生活を終えた三宅響子監督は、3.11をきっかけに日本に帰国し、若い頃住んでいた静かな海辺の町・浪江町を訪れる。浪江町は、福島原発に近いこともあり、立ち入り禁止区域となっていた。三宅の老いた叔母・邦子は、いつの日か帰れるかもしれないという希望を抱いていた。若い世代が移住していく中、三宅は、愛する浪江の外の生活に慣れるため奮闘する叔母の姿を記録し、また自身の家族の歴史を辿りながら、この町の複雑で矛盾する原子力発電所の歴史を明らかにしていく。今は記憶の中にしか残っていないコミュニティへの悲痛な弔辞を綴る作品。

2013年／73分／監督：三宅響子

オンライン上映のみ。北米で視聴可

『ブルーアワーにぶっ飛ばす』 Blue Hour

30歳を過ぎたばかりの砂田(夏帆)は、東京のCMディレクターとして、芸術性よりも人格管理能力が求められる仕事をしている。女性差別的な業界からの不公平な圧力や、自滅的な行動の繰り返しに落胆した砂田は、自由奔放な親友の清浦（シム・ウンギョン）と一緒に茨城の故郷に帰る。複雑な家族関係を修復し、封印されていたクリエイティブな精神を解き放つ。箱田優子監督は現実の微妙な揺れを独特のユーモアで表現し、本作は日本映画界に新たな力を吹き込んだ注目のデビュー作となった。

2019年／92分／監督：箱田優子 出演：夏帆、シム・ウンギョン

オンラインのみ。北米で視聴可

『許された子供たち』 Forgiven Children

13歳の絆星（きら）とその仲間たちは、日頃から同級生の樹（いつき）をいじめていたが、ある日絆星は行き過ぎた行動に出、ボウガンで樹の喉に撃ち込んでしまう。血を流す樹を残し、絆星たちはその場から逃げ出す。犯行を自供した絆星は、SNSの標的となるが、結局は無罪判決を受け無罪放免となり周囲を驚かせる。しかし、絆星とその家族への注目は収束せず、正義を求める声は外国人排斥やSNSでの嫌がらせへとエスカレートしていく。十代のいじめや非行を生々しく、痛烈に見せるこの作品は、日本で実際に起きた少年事件からヒントを得て、日本の刑事制度、いじめによる冷酷な連鎖、倫理と道德の相反する問題を率直に描いている。

2020 年／131 分／監督：内藤瑛亮 主演：上村侑、黒岩よし、名倉雪乃
オンライン上映のみ。北米で視聴可

講演

50 音順にタイトルを掲載しています。

すべての講演は film.japansociety.org で無料でストリーミング配信され、
12 月 3 日から世界中でご視聴いただけます。

「パネルディスカッション：デビュー作とその後」

アーロン・ジェロー氏の司会のもと、角田拓也氏、山崎順子氏、ジャスパー・シャープ氏の 3 名のパネリストが『フラッシュ・フォワード』に登場する 6 人の監督とその作品、彼らのデビュー当時の文化的背景や映画業界について語ります。

モデレーター： **アーロン・ジェロー**

イエール大学 東アジア言語・文学・映画研究 教授

パネリスト： **角田拓也**

コロンビア大学 日本映画・メディア研究 助教授

山崎順子

UCLA アジア言語・文学部 助教授

ジャスパー・シャープ

アロー・フィルム 作家・キュレーター・映画製作者

「フラッシュ・フォワード: 映画人との対話」

沖田修一、河瀬直美、阪本順治、塩田明彦、周防正行、西川美和の各監督が、デビュー当時とその後の映画制作プロセスや業界の変化について振り返ります。

【JS 劇場内上映スケジュール】

12 月 11 日(土) 午後 7 時

『丹下左膳餘話 百萬両の壺』 Tange Sazen and the Pot Worth a Million Ryo

(4K 修復・最長版)

1935 年／94 分／ 監督：山中貞雄 主演：大河内傳次郎、喜代三、沢村国太郎

12 月 17 日(金) 午後 7 時

『河内山宗俊』 Priest of Darkness (4K 修復版)

1936 年／82 分／ 監督：山中貞雄 主演：河原崎長十郎、中村 翫右衛門、原節子

ACA Cinema Project

海外における日本映画の上映機会の創出と海外展開
を促進する目的で開催される文化庁委託事業「日本



映画海外展開強化事業」の日本映画上映プロジェクト。上映だけでなくシンポジウム等も併せて実施し、海外における日本映画や製作者の知名度の向上を図る。特に今回は映画文化の一大拠点であるアメリカでの上映会をジャパン・ソサエティーと共に企画・実施し、幅広い日本映画を紹介していく。

https://www.vipo.or.jp/project/aca_cinema_project_r3/

特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO: Visual Industry Promotion Organization）について

VIPO（ヴィーポ）は映画・放送・アニメ・マンガ・ゲーム・音楽・キャラクター・出版などの日本のコンテンツ産業の国際競争力の強化を推進し、日本経済の活性化に寄与することを目的に、2004 年に設立された NPO 法人です。100 を超える会員企業・団体の協力と政府・地方公共団体による政策・施策を有機的に組み合わせながら、〈人材育成〉、〈海外展開・市場開

拓」の支援を中心に、文化芸術分野を含めた作品等の製/制作・発表、調査研究、情報提供・保護、海外機関との連携事業などを実施しています。様々な活動を通して、コンテンツ産業全体のさらなる価値向上と長期的発展をグローバルな視点に立ちサポートしています。

www.vipo.or.jp



お問い合わせ先：

特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）

e-mail: aca_cinema_project@vipo.or.jp

JSについて：

JS は、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々につなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されている JS 本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。1907 年以来、JS では「きずな（絆）」の考えのもとに、革新的な次世代クリエイターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となること、そして日米間の相互理解の促進と絆を深めることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は www.japansociety.org をご覧ください。

JS は今年、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、絆というコンセプトを打ち出しています。

公式 SNS アカウント：

Facebook： facebook.com/japansociety

Instagram： [@japansociety](https://www.instagram.com/japansociety) and #japansociety

Twitter： [@japansociety](https://twitter.com/japansociety)（英語）／ [@js_desu](https://twitter.com/js_desu)

その他、詳しい情報は弊社ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47th Street (1Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト

www.japansociety.org

2021 年 ACA Cinema Project 「フラッシュ・フォワード ~デビュー作の風景~」は、以下の団体・企業および個人より支援・後援を頂いています。

Flash Forward: Debut Works and Recent Films by Notable Japanese Directors is co-presented by Japan Society and the Agency for Cultural Affairs in collaboration with Visual Industry Promotion Organization. Japan Society Film programs are generously supported by ORIX Corporation USA, public funds from the New York City Department of Cultural Affairs in partnership with the City Council and the Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund. Additional season support is provided by The Globus Family, Masako H. Shinn, David Toberisky, Akiko Koide and Shohei Koide, Geoff and Fumi Matters, Laurel Gonsalves, David S. Howe, and Masu Hiroshi Masuyama. Transportation assistance is provided by Japan Airlines, the exclusive Japanese airline sponsor of Japan Society Film.

###